

オンラインで進路考える

名古屋・南陽高 愛教大と質疑応答



画面越しに愛知教育大の担当者に質問する生徒たち＝名古屋市港区の南陽高で

インターネットのビデオ会議アプリを活用したキャリアガイダンスが十八日、名古屋市港区の南陽高校であり、生徒たちは愛知教育大（刈谷市）の広報担当者

とやりとりした。

新型コロナウイルスの影響で大学や企業の訪問ができない中、進学や就職について考える機会を確保しようと、同校が企画。各方面

と交渉し、愛知教育大との間で実現した。

ガイダンスには一年一組の約四十人が参加。生徒たちは、大学の特色や施設などについて写真や動画を交えて説明を受けたほか、質疑応答で他大学との違いや卒業後の進路などについて聞いた。質問で真っ先に手を挙げた福谷克樹さん（二）
「蟹江町」は「ビデオ越しに質問ができてよかった。関心が深まった」と話していた。ほかに地域の企業について知る動画視聴の時間も設けられた。

同校は、生徒が幅広い科目から選択して授業が受けられる総合学科。二年生以降の科目選択に役立ててもらうため、例年は一年生を対象に近隣の大学や企業の見学会を設けてきたが、今年には感染予防のため中止になった。

（角雄記）